

被災地での学び 冊子に 佐久大・短大部ボランティア



報告集を手にする片桐団長

佐久大学と同大信州短期大学部（ともに佐久市）の学生や教職員でつくる「佐久大学・佐久大学信州短期大学部東日本大震災ボランティア団」は、宮城県石巻市で昨年8月

に行ったボランティア活動について冊子にまとめた。佐久・上小地域の市町村教育委員会に配布した他、希望者にも配る。
講義で災害時や緊急時の障

害者への対応を学んだ短期大
学部生から「もっと深く学び
たい」という声が上がったこ
とが活動のきっかけ。佐久ラ
イオンズクラブを通じて石巻
中央ライオンズクラブを紹介
してもらい、学生、教職員計
33人が8月17、19日に訪問し
た。

草むしり、溝さらい、掃除
などで地元の人を支援した。
また、現地で被災者の生活改
善指導や心のケアをしている
全国訪問ボランティアナース
の会「キャンパス」の看護師

たちに話を聞いた。

冊子はA4判50頁余り。活
動記録の他、学生が「実際に
被災地に行き、現状を知るこ
とができて良かった」「なぜ
介護福祉士を目指すのか、あ
らためて考えるきっかけにな
った」などと参加の感想を書
いている。

団長で佐久大参与の片桐学
さん(62)は「学生が被災地で
感じたことを多くの人に読ん
てもらいたい」と話している。
希望者は佐久大学(☎026
7・68・6680)へ。